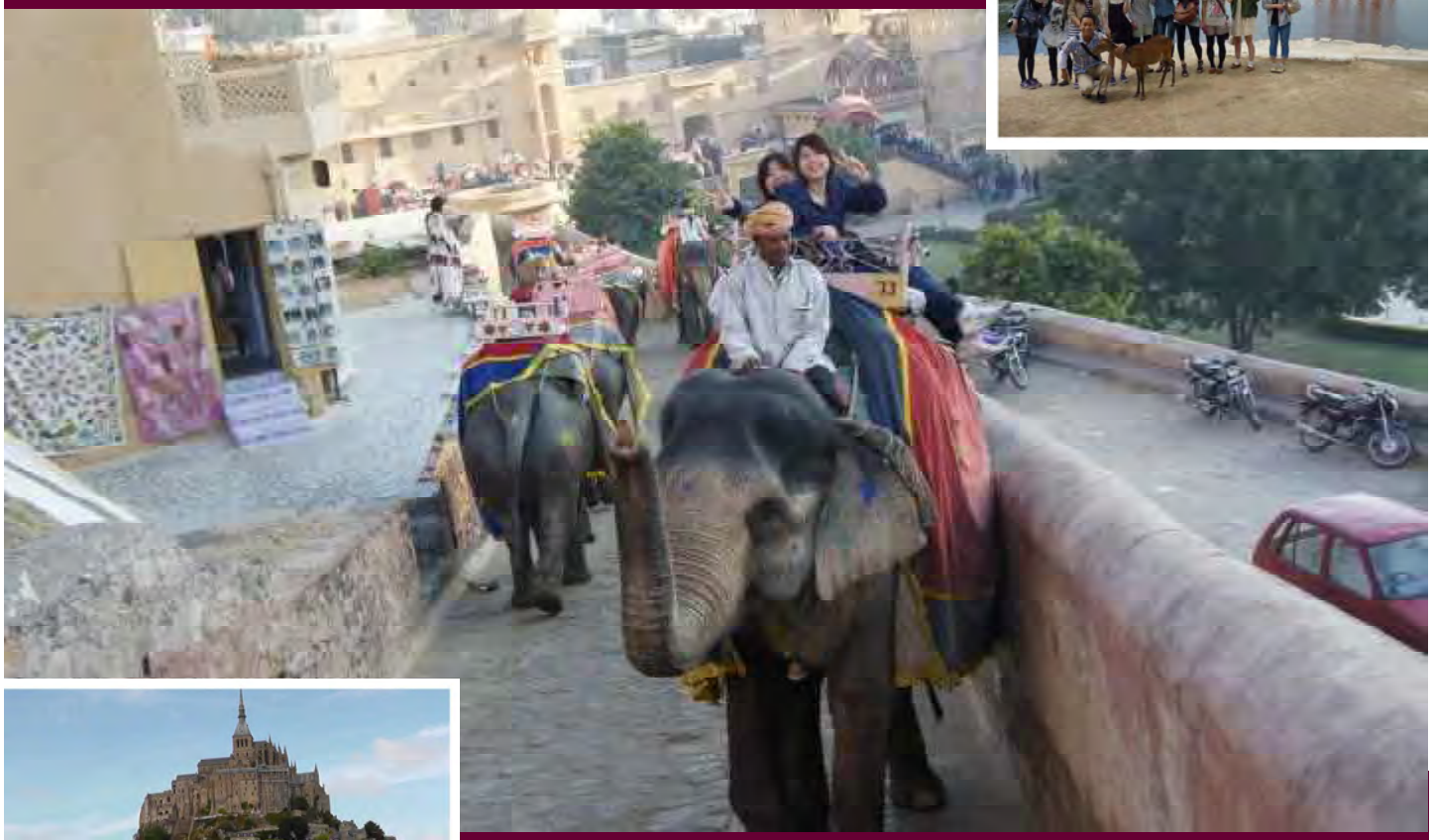
時空を飛び越えて



文化を学ぼう

新たな挑戦！

人間文化学科

宮城学院女子大学　学芸学部

人間文化学科　５つの特色

① 日本、世界の歴史を学べます。

日本とヨーロッパ地域を中心に、社会・美術・思想・女性の歴史が学べます。「過去」を知ることで、現代社会の成り立ちを理解します。
社会の歴史だけでなく、美術作品や思想、女性の生き方など様々な視点から過去を探究することで、広い視野を持ってものごとを見る眼を育てます。

② アジア、ヨーロッパの文化や社会について、グローバルな視点で学べます。

アジアやヨーロッパの諸地域について、国際政治学や文化人類学などの多様な学問体系を用いて総合的に学びます。
異文化理解をさらに深めるために、英語などの諸言語を実践的に学びます。
人権・ジェンダー・国際協力なども学習のキーワードです。

③ 現地で学べる実習が充実しています。

外国でフィールドワークをしたり、語学力を磨いたりする海外実習があります。
国内実習では、奈良や京都などを訪れ、「実物」に触れることを通して、日本の歴史や文化を学びます

④ 自主的な学びを応援します。

自主的に学んだ成果を単位として認める「個別研修」科目があります。
ＮＧＯ活動への参加や短期留学、語学検定なども、単位として認められます。

⑤ 卒業論文で自分自身のオリジナリティーを磨きます。

４年間で身につけた社会や文化を見る視点、情報検索技術、語学能力、調査技術、文章表現力などを駆使し、少人数ゼミの丁寧な指導を通して、卒論を仕上げます。

資格

取得できる資格は以下のとおりです。

中学校教諭一種免許状（社会）
高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
高等学校教諭一種免許状（公民）
学芸員

就職支援

卒業生から、直接、話を聞く就職茶話会などを開催しています。実践的なアドバイスが聞け、具体的な就職活動のやり方だけでなく、自らの就職観を養うことで、就きたい仕事や自分にあった業種について考える貴重な機会となっています。

インターンシップによる就業体験は、就職活動において、とても重要です。自治体の国際交流協会やＮＰＯセンターなど、学科の学びと関連する団体でインターンになる学生に対して、積極的なサポートをおこないます。

代表的な就職先（2013年度 卒業生）

ゆうちょ銀行、かんぽ生命保険、ユアテック、積水ハウス、三菱電機ビルテクノサービス、鐘崎、マックスバリュ南東北、ソフトバンクグループ、トップツアー、東北博報堂、仙台トヨペット、一の坊、東日本旅客鉄道、JAF日本自動車連盟、総合南東北病院、古川農業協同組合、色麻町、など

卒業後の進路

人間文化学科の卒業生は、様々な業種、職種に就いています。学科の特色を生かした就職先としては、旅行、交通、ホテル、教育、博物館・美術館関係がありますが、銀行や小売業、サービス業などの様々な企業で、事務・営業・販売等を担当したり、総合職・一般職に就く人が比較的多いと言えます。公務員も少なくなく、教員や警察官として働いている卒業生もいます。誰もが知っている大手企業から、地元に根ざす優良中小企業まで、全国各地で卒業生は活躍しています。

今後は、航空関係や外資系、海外に販路をもつ企業など、国際的な感覚や言語コミュニケーション力が必要とされる分野、NGOや国連などの国際的な団体での活躍も期待されます。英語はもちろん、ヨーロッパ系の言語や、学ぶ機会の少ないアジア系の言語を身につければ、チャンスが広がります。学芸員や教員への道も開かれています。本学科で学んだことが、中学・高校の現場で実践的に役立ち、必要とされると考えています。

代表的な進学先

宮城学院女子大学大学院、京都大学大学院、東北大学大学院、名古屋大学大学院、東北学院大学大学院、など

２つの系列

歴史系

歴史を学ぶことは過去の事実を丸暗記するだけの、今に役立たない勉強でしょうか？「今」は「過去」の積み重ねから成り立っています。今がなぜこうなっているか、今後どうなるかは、歴史を知らなければ分からないのです。同じ国でも時代が違えば社会の仕組みも考え方も違います。だから歴史を学ぶことは「異文化を学ぶ」ことでもあるのです。過去の人々が残した文章・作品に触れ、広い視野で多角的に物事を考え、未来を生き抜きましょう。講義・演習・フィールド実習など、幅広い学びの場を用意して待っています。

グローバル系

対象地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、ヨーロッパ（西欧・東欧・北欧・南欧）の諸地域であり、南アジア、東南アジア、西ヨーロッパについては、卒業論文、演習、講義、資料講読の諸科目が開講されています。担当教員の専門分野は、地域を単位として、国際政治学、文化人類学、経済学、歴史学など多方面にわたり、グローバルな視点で学生の多様な関心に応える体制を整えています。

資料講読

資料講読では、主に、古文書・美術資料、外国書などの様々な文献・作品を演習形式で読み解いていきます。難しく思えますが、こうした学びは、自分なりに考え、正しいと思われる解釈を選び取るという、情報リテラシー能力を鍛えることにも繋がります。最初はみんな初心者です。楽しみながらゆっくり資料に親しんでいきましょう。

多様な外国語

資料講読やフィールド実習事前指導のクラスのなかには、文章を読むだけでなく、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ヒンディー語、フィリピン語など、学習機会の少ない言語も含む様々な言語に触れ、生きた会話を学べるクラスも設置されます。また、海外でのフィールド実習では、語学の研修を受けたり、事前に学んだ言語で調査を行ったり、現地の人々とコミュニケーションをとるなど、実際に言葉を使う機会が多く、それによって文化や社会への理解が深められ、言語のスキルアップにもつながります。

人間文化学科専門科目一覧

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目	歴史・地域学入門 日本史概説 西洋史概説 東洋史概説 芸術史概説 文化論概論A（日本入門） 文化論概論B（南アジア入門） 文化論概論C（東、東南アジア入門） 文化論概論D（ヨーロッパ入門） 世界遺産概説 時事問題概説 文化人類学 フィールドワーク論 メディア論 哲学概論			
専門科目（歴史）		日本社会の歴史A・B 西洋社会の歴史A・B 東洋社会の歴史A・B 日本美術史A・B 西洋美術史A・B	考古資料の研究A・B 地域社会史A・B 女性の歴史A・B 思想と哲学の歴史A・B	
専門科目（グローバル）		地域文化論A（日本研究） 地域文化論B（東アジア研究） 地域文化論C（南アジア研究） 地域文化論D（東南アジア研究） 地域文化論E（西欧研究） 地域文化論F（東欧研究） 地域文化論G（南欧研究） 地域文化論H（北欧研究） 現代文化論A（ジェンダー論） 現代文化論B（比較文化論）	地域社会論A（環境と社会） 地域社会論B（エスニシティ論） 国際社会論A（国際協力） 国際社会論B（多文化共生） 現代社会論A（分離と統合） 現代社会論B（記憶と社会） 宗教文化論A（イスラーム学） 宗教文化論B（儀礼と象徴）	
特論			歴史・地域学特論A（女性と文化） 歴史・地域学特論B（秩序と人権）	
資料講読科目		入門資料講読	発展資料講読	
演習科目	入門演習	導入演習Ⅰ・Ⅱ	発展演習Ⅰ・Ⅱ	卒研演習Ⅰ・Ⅱ 卒業論文
個別研修、キャリア科目	個別研修 キャリアデザイン			
その他の科目	地域言語論　政治学概論 自然地理学　社会学概論 地誌学　博物館学	人文地理学A・B フィールド実習事前指導 フィールド実習（海外・国内）		

卒業するためには、上記の学科専門科目（必修科目と選択科目の両方があります）を履修する他、所定の一般教育科目を履修して、合計124単位を取得する必要があります。
また、各種資格を取得するためには、上記科目以外の諸科目も履修する必要があります。

フィールド実習

フィールド実習は、学生にとって、将来の目標を見つけたり、勉学意欲をかき立てられたり、調査の仕方を習得して卒論に活かしたりする機会です。フィールド経験豊かな教員が、歩き方、学び方、考え方を現場で伝授します。フィールド実習は、毎年、国内と海外１か所ずつで行われる予定で、２年次以上の学生が参加できます。国内での実習の費用は数万円程度です。海外での実習の費用は、実習地によって異なりますが、20万～50万円くらいです。宮城学院には、海外での実習に経済的理由で参加が困難な学生のために、費用の一部を貸与する制度があります。

国内フィールド実習

人間文化学科の歴史研究の特色は、「現場主義」にあります。研究対象とする事象の起こった現場を訪れ、風土を見、暮らしを見、まさにその地に、その時代に暮らした人々がいたことに思いをはせながら、研究することを大切にします。そして、本物を見る。「実物主義」です。奈良・京都には毎年、定番で訪れます。正倉院の倉下に入り、東大寺大仏の須弥壇に登り、発掘現場で新発見を見る。「現場主義」「実物主義」の楽しさを味わってみませんか。

海外フィールド実習

ヨーロッパ地域での実習は、今のヨーロッパの実態にあわせて、特定の国に限らず、地域の統合と分離についてヨーロッパ全体を見渡した視点から学ぶことに主眼を置きます。しかし、ヨーロッパを理解するためには、自分で歩き、現地の言葉と生活習慣に慣れることが重要です。そのため実習の前半では、ヨーロッパの主要言語（英語、ドイツ語、フランス語）のいずれかを集中的に学び、語学力を活かしながら生活します。そして後半では、周辺の国・地域に関する専門知識を有する教員とともに、芸術・文化施設等を学術的観点に基づき視察してまわります。

アジア地域での実習は、インド亜大陸またはフィリピンで行う予定です。世界遺産なども訪れますが、なかなか訪れることのできない地方都市や農村部に足を踏み入れ、その国の生活を現地の人々と同じ視点で捉えようとするのが大きな特徴です。必要に応じて、現地の大学で語学の集中講義を受けます。この他、現地の大学生の協力を得て研究調査を行います。この調査は、習得した語学力を実践的に活かす絶好のチャンスになるだけでなく、現地の学生との交流を始めるきっかけとなり、実習後にも続く友情を結ぶ機会となるでしょう。

なお、アジアと日本をつなぐという視点から、沖縄でも実習を行います。

海外留学

宮城学院女子大学が留学生の交換・派遣の協定を結んでいる大学は以下のとおりです。

アメリカ	北アリゾナ大学、ハイデルバーグ大学
オーストラリア	クイーンズランド工科大学
カナダ	ウィニペグ大学
イギリス	リーズ大学
フランス	カン大学
中国	遼寧師範大学
韓国	忠南大学
台湾	高雄大学

これらの大学に交換・派遣留学生として半年間または１年間留学しても、４年で卒業することが可能です。

自主留学（いわゆる私費留学）する学生も少なからずいます。休学して留学する場合だけでなく、休学せずに短期留学する場合でも、条件を満たせば、個別研修（後述）の単位を取得できます。

先輩の留学体験を聞く交流会や、仙台在住の留学生との交流会も行う予定です。

個別研修

学生の自主的学習で単位を取得できる「個別研修」という科目があります。たとえば、海外で一定期間、スタディーツアーに参加して修了証を取得したり、TOEICで一定の点数をとると、単位が認定されます。自主的に学ぶことで、講義内容について理解を深めるだけでなく、就職にも役立ちます。この部門の単位は、卒業要件単位になります。

個別研修の対象となる試験・資格は次のとおりです。

TOEIC、TOEFL、実用英語検定、実用フランス語技能検定、ドイツ語技能検定、中国語検定、ハングル能力検定、韓国語能力検定、日本語漢字能力検定、日本語教育能力検定試験、国内旅行業務取扱管理者試験、総合旅行業務取扱管理者試験、通訳案内士試験、観光英語、など。

これらの検定結果は２年間有効とみなし、本学入学以前に取得した資格・級・点数についても単位を認定します。

人間文化学会

人間文化学会は、人間文化学科の学生たちが主体となり、活動する団体です。主な活動は、日本や世界の様々な地域の文化や社会に関する講演会やシンポジウム、卒業生による就職茶話会などの企画・運営、ニュース・レターの発行です。「スリー・コインズ・ツアー」と呼ばれる小旅行では、休日を利用して、教員や学生が博物館などを見学します。日帰りなら300円、１泊でも3000円という格安の値段で、仲間との交流を暖め、深い知識を得ることができます。大学祭にも積極的に参加し、教員や学生が現地で購入した世界のお土産を売って、その収益をＮＧＯ団体などに寄付し支援するなど、様々な企画、活動を行います。

人間文化学科の旬な情報は……

大学ウェブサイトをご覧下さい。

www.mgu.ac.jp

Cultural Studies Department
Faculty of Liberal Arts
Miyagi Gakuin Women's University

お問い合わせ先

宮城学院女子大学

〒981-8557
宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

教育支援グループ入試広報担当
TEL　022-279-5837
FAX　022-279-5978
[E-mail]　nyushi@mgu.ac.jp

学芸学部人間文化学科副手室
TEL/FAX　022-277-6166